

「くるみん」認定マーク



## 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

- ◆本社所在地 つば市 ◆業種 学術研究、専門・技術サービス業
- ◆労働者数 5,564人（男性3,307人／女性2,257人）（令和3年1月13日現在）

### ■くるみん認定に係る取組状況

#### （1）行動計画の期間、目標及び取組について

①計画期間 平成30年4月1日から令和2年3月31日

②目標及び結果

【目標1】男性職員が積極的に育児に参加できる職場環境を整え、育児休業取得を推奨する。  
また、子どもの出生に伴う休暇（通算2日）について、計画期間中に対象となる男性職員の70%以上の取得を目指す。

（結果）平成30年4月の「新規採用職員研修」を始めとした各階層別研修（計12回開催）や、ダイバーシティ推進委員会においてダイバーシティ責任者（各研究センター等の所長）に意識啓発を行うとともに、平成31年6月24日に「ワークライフバランスセミナー」を開催し男性の育児参加の機運を醸成した。  
それにより、男性の育児休業取得率は12.8%、配偶者出産休暇の取得率は77.1%となった。

【目標2】一時預かり保育室を設置・運営し、職員が業務と育児を両立しやすい環境を整備する。

（結果）令和2年2月に熊本県合志市に一時預かり保育室を新設した。  
また、より一層の利用を促進するため、役職員以外のJSPS研究員や派遣職員が利用可能とすることや、保育対象の子の年齢を生後3か月以降から生後2か月以降に引き下げる等の利用要件を緩和し、両立しやすい環境整備を行った。

【目標3】超過勤務を削減するため、週1回の定時退所日を設定し、退所を促す。

（結果）平成30年7月に開催した総務部長・次長会議において、週1回以上の定時退所日の設定と退所を促すアナウンスの実施を周知した。

定時退所日未設定であった新設の研究センター等（3カ所）で週1回の定時退所日を設定し、イントラネット等で周知した。

農業情報研究センター	毎週水曜日
食農ビジネス推進センター	毎週水曜日
高度解析センター	毎週水曜日

※なお、既に実施済みの拠点については継続して実施。

(2) 認定基準（くるみん認定基準）に係る取組状況

①計画期間内の育児休業取得率

- i) 男性（認定基準：男性労働者のうち、育児休業を取得した物の割合が7%以上）  
12.8% / 9人
- ii) 女性（認定基準：75%以上）  
100%

②労働時間等働き方

- i) 法定時間外労働及び法定休日労働時間の平均が毎月45時間未満
- ii) 月平均の法定時間外労働60時間以上の労働者はいない

③法を上回る育児に関する制度導入

i) 時間外労働の制限に関する制度

中学校就学の始期に達するまでの子を育てる職員が、当該子を養育するために請求することができる制度としている。

ii) 短時間勤務制度

小学校就学の始期に達するまでの子を育てる職員が、短時間勤務を申し出た場合には、希望する日及び時間帯において勤務することができる制度としている。

iii) 保育施設の設置

茨城県つくば市に「なるりんルーム」、熊本県合志市に「花実寮」一時預かり保育施設を設置・運営しており、希望する労働者は生後2か月から小学校就学の始期に達するまでの子を預けることができる。

## ■認定を受けてのコメント

農研機構は、生き生きと働ける職場環境を整え、多様な人材が活躍できる組織や職場風土の醸成を進めています。職員のワーク・ライフ・バランスの推進の為、所内イントラネットやガイドブック等を利用して男性職員の積極的な育児参加を促すとともに、茨城県つくば市と熊本県合志市に一時預かり保育室を開室するなど、育児を行う職員が働きやすい職場環境づくりを進めてきました。今後も、多様性を活かし持てる力を十分に発揮できる職場環境の整備に取り組んでまいります。